

2023年8月30日(水)第五水曜祈祷会

士師記19章1～30節

『士師記最悪の事件』

■『ダン部族の移動』士師記18章1～31節 * 鍵語…そのころ、イスラエルには王がいなかった。

1. ダン部族は自分たちが住む相続地がなかったので、()の偵察隊を派遣して調査した。
2. 彼らは平穏な町()を占領することを勧め、兵士を送って住民を討ち、火で町を焼いた。
3. 途中、ミカの家にあったエポデやテラフィム、彫像や銅像を奪い、さらには()を奪い取った。
4. ダン族は占領した町を「ダン」という名をつけ、自分たちのために()を立て、祭司を立てた。

本論:『士師記最悪の事件』

1. 「側目を迎えにいく主人」(19章1～15節) * 王がいなかった時代…無秩序、無法状態を示す

①主に仕えるはずのレビ人に「そばめ」(側女)がいたとは、何を表していますか。

→

②義父は娘を連れ戻しにきた夫をどのように迎え、五日間どんな話しをしたと思いますか。

→

③エフライムへの帰路の途中、日が傾いて、彼らはどこに宿泊しようと思いましたか。なぜですか。

→

2. 「ギブアでの事件」(16～26節) * ソドムでロトの家に起こった出来事と同じ(創世記19:1-9)

①なぜ老人は、町の広場にいる彼らに声をかけたのですか(エフライムの山地の人)。

→

②「…広場で夜を過ごしてはいけません」という老人の言葉には、どんな意味がありますか。

→

③町の男たちが家を取り囲む中で、主人はどうやって一家を守ろうとしましたか。

→

3. 「このことをよく考えよ」(27～30節) * 主人にとって側女はどんな存在だったのか…

①彼女の主人は、家の入口で倒れていた側女を見て、どう思いましたか。

→

②主人に呼びかけられても、側女の返事がなかったのは何を意味していますか(20:5)。

→

③主人が側女の肢体を十二の部分に切り分けたのはなぜですか。

→

【適用と分かち合い】

①「イスラエルに王がいなかった時代」とは、何を意味していますか。

②ギブアの住民たちの悪行が今日の世界と決して無縁ではないのはどうしてですか。

③今日の箇所から何か気づいたこと、教えられたことがありましたら、自由に分かち合いましょう。